

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.121

2009/12/12

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

この先で歓声をあげる景色が待っている（南部湿原）（09/11/30）



北部湿原の復元が完了したこともあって、今年のミヤマウメモドキが創り出す景観は過去最高です。もちろん今年が生り年ということもありますが、現在『ミツガシワの山門水源の森』となっていますが、中央湿原の復元が完了すると『ミヤマウメモドキの山門水源の森』となりそうな景観です。

北部湿原のミヤマウメモドキ（09/11/23）



倒木全面（勿論下面にも）に発生したナメコ。ここでも来訪者のみならず案内者も大歓声。

（09/11/26）

11月には、ササユリの播種(約1万粒・保全活動の日に会員で作業)・絶滅危惧種ミヤコアザミ播種・アケボノソウ播種・観察コース沿い草刈・ササユリ保護金網撤収作業がほぼ完了した。



コース沿い草刈で綺麗になった 分岐付近 (09/11/16)

ササユリ保護金網撤収 (09/11/28)



PHOTO BY FUJISAWA

2009/11/28 11:00

いずれの作業もその成果がすぐに確かめられるものではありませんが、参加して頂いた皆さんは、遠いであろう先の森の姿を想像しながら取り組んで頂きました。そう言えば、北部湿原復元作業に早い時期に参加して頂いた方で既に他界された方もお

ミヤコアザミの播種 (09/11/16) 7年後の開花を夢見てササユリ播種 (09/11/21) られます。今年の北部湿原の姿をご覧頂いたら、さぞかし喜んで頂けたらと思います。が自然相手の仕事とはこういうものだろうと思います。今の活動が次の世代にどのように評価されるかは別にして、今の世代で出来る限りのことはしておきたいものです。11月下旬から取り組んでいる中央湿原西側は、樹林帯・灌木帯・ササ帯・ヌマガヤ帯等々

多様な遷移状態がパッチ状になっています。ここでは、今後の遷移の状態を確認できるように状態の異なる部分を残しながら復元しようと考えています。



いろいろな植生がパッチ状に (09/11/27)



設置カメラで撮れたイノシシ2頭 (09/12/02)

11月中旬から設置している自動固定カメラに次々と動物が撮影出来るようになりました。これまでに、イノシシ・シカ・ノウサギ・ネズミ(種不明)が撮影できました。今後野生の行動が明らかになって行くと思われます。

「山門水源の森」月別カレンダー - 大好評

伊藤会員が制作してくれている「山門水源の森月めくりカレンダー」(A6判・卓上用)は、年々画像が充実し、今年是在庫が無くなる日も続出でした。会員でご希望の方は、伊藤会員にご注文下さい。1セット¥500(送料¥90)。プレゼントにも最適です。

伊藤氏連絡先 E-mail: takako.ito@wine.plala.or.jp

&Fax: 077-594-2573

山門水源の森 2010 平成22年 6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

トキソウ

ササユリ

ツルアリドオシ

ギンリョウソウ

コアザミ

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会